

2021年度（令和3年度） 事業報告書

2022年2月

滋賀県大津市大萱六丁目1

総合型地域スポーツクラブ

特定非営利活動法人瀬田漕艇倶楽部

代表理事 黒田 士朗



2021年7月18日撮影

[1] 2021年度活動報告

1 特定非営利活動

2021年度定期総会にて以下の目標を掲げ、年間活動に取り組んだ。

1. 全体 倶楽部理念や建設の趣旨に沿ったFurukawa Houseの活用を検討・実践し、世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を活発化する。
コロナ禍での新たな事業計画、倶楽部運営体制の検討。
認定NPO法人への認可継続。賛助会員の拡大策の検討・実施。
2. 安全 (1)安全規則の随時見直し(初版2005年)。
(2)安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3)インシデント・アクシデントレポート作成の推進。
3. 保全 整理整頓という基本的な事を皆で行える様、まずはあるべき姿を管理、そしてそれを維持する所から取り掛かる。またクラブの設備・備品で経年劣化して来ているものについて、皆でそれらに対する情報や意識を共有できる様になる。
4. 施設 老朽化した所の対応、使い勝手を見直した修繕計画と備品購入計画。
5. 事務 各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策
6. 特別 びわこ市民レガッタの参加者100クルー(500人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。Head Of The SETAの参加者800人以上。各ボート団体への個別交渉。
7. 普及 ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年250人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく
8. 収益 ウェブを活用して、年間50万の収益確保に取り組む。
新たな収益財源確保に向けて具体案を検討する。
9. 財務 会計フローの整理・定着化。各理事との連携を強化する。
10. 広報 月一回の確実な会報発行。
11. 活動 倶楽部運営収支100万円、NPO事業収支200万円、収益事業収支50万円の計350万円の現金収支を確保するための、工夫・新たな取り組みを計画、実行
選手チームは、全日本選手権でのメダル獲得を目標とする。選手層のメンバー獲得を推進する。杉藤コーチの指導のもと、競技力強化、魅力ある選手チーム作りを進める。

【総括】

2021年度もコロナウイルスに翻弄された1年であった。昨年度のように倶楽部活動の自粛は行わなかったが練習後の消毒、FurukawaHouseでの団らんの規制等倶楽部員の皆さんには大変なご負担をかけた中でご協力いただき非常に感謝している。

様々な制限下の中でもクラブ員の皆さまには多くの協力をいただき事業の実施が出来た。本来であれば昨年度行われるはずであった東京オリンピック事前合宿でN2オリンピックチームが艇庫を利用。選手と交流を楽しみにしていた方も多くいたと思われるが、コロナ感染防止のため限られた交流であったが世界トップの漕ぎ、雰囲気を感じる事ができ、金メダル3個、銀メダル2個と素晴らしい成績を収めてくれた事は非常に嬉しい事であった。また、Head Of The Setaを2年ぶりに開催。187クルー/424名の参加をいただく。三密回避の点からも倶楽部所有艇の借艇なし、交流会なしと若干寂しくなるかと思われたが、多くの方の参加をいただき、倶楽部員も多くの方が運営に参加いただき感謝する。今年度も様々な倶楽部事業を実施予定なので多くの倶楽部員の参加、今まで以上の運営への知恵・経験と協力をお願いしたい。

競技活動においてシニアチーム中心に素晴らしい実績を挙げてくれた。全日本選手権女子1×において西原選手が倶楽部として20年振りの日本一。西日本選手権においては2種目優勝、関西選手権においては5種目において決勝進出。大いに活躍をしてくれた。設立当時から掲げている「チャンピオンクルーから日曜スカラまで」実現した年であった。また、新入会員として全日本男子1×で3位となった岡田選手が入会。シニアチーム中心に切磋琢磨し活気づいている。

今後も「チャンピオンクルーの育成」の取り組みを着実に前に進めていきたい。

整備面においては大きな工事は未実施であるが、日々、マスターズの方々中心に清掃、修理等日々実施。非常に感謝。

2021年度のNPO事業は▲310万円の赤字予算、CFベースでは8万円の予算であったが、NZオリンピックチーム事前キャンプ受入れ、Headの開催、滋賀県持続化給付金により▲41万円、CFベースでは320万円となる。コロナではあったがNZチーム受入、Head開催においての皆さまのご協力に感謝する。また、公的資金の給付金にも助けられた（前期200万円、今期70万円）。

2021年末会員数は、正会員140名（家族会員24名）、賛助会員70名。昨年度末から正会員は▲5名減少。昨年度と同じくコロナウイルスの影響で新入会員の入会が少なかったと考えられる。

(1)ボート等競技大会開催或いは開催支援活動

① ボート競技大会開催

全国マシンローイング大会近畿大会

新型コロナウイルス蔓延に伴い、実施中止とした。

また、コロナ禍で密を避けた運営や演出が困難であることから、次年度以降の開催を辞退した。

第16回びわこ市民レガッタ

今大会は昨年度の第15回に引き続き、やむなく中止した。

今回は、2020年の先行きが全く見えないという状態からは多くの変化があり、感染対策をしっかりとすれば開催できる、という思いで準備を進めた。その甲斐もあってか40クルーと、例年よりも大幅減少ながらもエントリーの申し込みをいただき、むしろ規模を縮小することで収支を合わせながら実施できる目途をたててきた。

そして8月7日には2クルーの参加のみであったが1回目の無料練習会を実施しが、8月以降新型コロナの感染者数の増加傾向が一向に衰えず、ついには滋賀県にまん延防止等重点措置が宣言され、同時に大阪府と京都府に緊急事態宣言が発出されるに至った。

宣言期間が大会開催日である9月12日までであったため、大会を開催することはできないと判断した。

次回、第17回大会は9月19日(敬老の日・月曜日)に開催する予定である。今回はオックスフォード盾・全日本大学選手権とは開催日をずらすことができしており、また琵琶湖レガッタ(9月17、18日)の翌日である。今年こそ多くの方が参加できるように運営案を練り上げていきたい。

また、クラブ員の皆さまには、練習会・準備へのご対応と当日のスタッフ従事へのご協力を、よろしくお願いいたします。

第29回 HEAD OF THE SETA

今11月13.14日両日に渡り、2年振りに開催。2日間で延べ187クルー/424名の参加者を集め開催。

コロナウイルス感染状況が落ち着きつつあったが、感染防止のために、倶楽部艇の借艇なし、懇親会なし等の密をさけ、感染防止に注力し開催。何件かの沈はあったが、接触事故等の大きな事故はなく無事開催出来た。

収入：860千円、支出305千円、利益555千円。

第30回は11月12日、13日が開催予定。倶楽部員が2日の内1日は出場出来るようにしたい。そのためには多くの会員の方の参加、協力が必要。

また、準備においても多くの倶楽部員の協力が必要であり、是非ともご協力願いたい。

② ボート競技会等開催支援活動

ボート競技会等の開催支援

滋賀県県民体育大会、高校秋季総体等のボート競技会に審判を派遣した。

(2) ボート競技の指導等・普及に関わる事業活動

① セミナー・講習会の開催

2021朝日レガッタコーチセミナー兼公認スポーツ指導者義務研修会

新型コロナウイルスによる大会中止に伴い、コーチセミナーの開催も中止。

③ 水上スポーツ教室の開催等

初心者ボート体験教室（2021年5～11月毎月第2、4日曜日）

コロナ感染予防の緊急事態宣言期間もあり、昨年に引き続き参加者は低調となった。

また、びわこ市民レガッタも最終的に中止となり練習としての利用も少なかった。このため、通常であれば、延べ約100名の利用があるが、昨年と同様、約30名にとどまった。それでも初心者の方にはエルゴメーターによる基本動作の練習と艇の基本的な扱いを説明した後に実際に乗艇を体験してもらい、ローイングの楽しさや湖上からの眺めを楽しんでいただいた。なお、ドラゴンボートについては利用がなかった。（昨年は一組6名の利用）

2022年度はパンデミックが終息し、体験を通じて水上スポーツの魅力を伝え、幅広い年代の会員増につながることを期待したい。

（収入実績：2019年約22万円、2020年約7万円、2021年約6万円）

ドラゴンボート体験（セタシジミ祭）

2021年の「セタシジミ祭」は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

ジュニアボート教室

滋賀レイクスターズとのコラボレーションで実施していた小学生対象のボート教室を4月よりレイクスターズ主催。当倶楽部は用具、場所の提供のみとなる。土曜午前中、木曜夕方中心に実施。

(3) 水上スポーツ活動の支援

安全管理に関する活動

- ① 安全講習会の開催（3/21・3/28） 出席者計53名
実際に琵琶湖で起きた事故を元に、安全なクラブ活動を再度呼びかけ。
琵琶湖における航路の確認と瀬田川航行ルールの確認。
特に水管橋付近の航行について詳細を再確認。
- ② 沈回復練習会については有志による実施。
- ③ 琵琶湖漕艇場からの注意喚起メールを会員に転送。
→瀬田川及び琵琶湖での工事や藻刈り作業、及び洗堰の全開放流時の連絡。
- ④ 水上事故のフォロー
- ⑤ AEDの作動点検と部品交換

安全講習会

県ボート協会主催の安全講習会にリモート団体参加。（12/11）
フルカワハウスにて13名参加

アクシデント・レポートの作成（随時）

【アクシデントレポート】

1. 水上、陸上を問わず、漕手舵手が負傷した事故
2. 水上において他艇あるいは他物との衝突及び接触
3. 艇の沈没

4. 損害の有無を問わず、外部の救助を仰いだ事故

【インシデントリポート】

1. 上記4項目に準じる事故、及び、事故の一步手前で「ハッとした」事象が起きた時

⇒ いずれもクラブ内での共有化が今後の課題

安全規則

2019年度に改正済の全開放流時のルールを修正。

改正前：洗堰全開放流の場合は瀬田川での練習禁止

ただし、モーターボートによる伴走ある場合は琵琶湖での乗艇は認める。

改正後：洗堰全開放流の場合は乗艇禁止。

ただし、①モーターボートによる伴走ある場合は琵琶湖での乗艇は認める。

②一定の条件（※）を満たす漕手については特に認める。（琵琶湖のみ）

※A:クラブ内もしくは県ボ主催安全講習会参加

B:エルゴスコア2000m8分45秒以内

C:1×での1000mタイム5分以内

上記ABCを全て満たす場合は理事承認の下で認める。

②については、クルーボート乗艇については、クルー全員が条件を達成できていること。

（通常の練習の範囲内で達成できていれば、そのスコア提示すればOKとする）

平日シニア組の冬期乗艇自主ルールについて

練習中に仲間を亡くすという悲しい過去の経験を二度と繰り返したく無いという思いから、平日シニア組は冬期における乗艇自主ルールを策定し、守って頂いています。

(4) ボートに関する情報発信

クラブの月刊機関紙「漕艇通信」（会報）の月末発行、ホームページを活用した情報発信等を行い、クラブの活動に関する最近の情報を提供した。引き続き、「漕艇通信」はホームページ上で公開している。

(5) 選手競技活動

女子は嶋美陽/三島杏夏ダブルスカルで関西選手権において準優勝、全日本選手権では敗者復活戦敗退となった。

男子は山口将平がシングルスカルにて全日本選手権に出場したが女子と同じく敗者復活戦敗退。

西原佳(プリントパック)が日本代表候補最終選考レースにおいて女子舵手無しペアにおいて1位を獲得。

また全日本選手権にて女子シングルスカル優勝を果たした。

(6) その他の活動

①プロコーチ杉藤氏によるコーチング

年額190万円（年150セッション以上+しがスポーツ大使+マスターズ）を毎月按分する形で、杉藤コーチに支払い。マスターズ分は各自支払い分を倶楽部を通して支払い。4月よりJrボート教室はレイクスターズ様が主催の変更。月、土中心に2回/週開催、倶楽部施設利用、何人かの倶楽部員の方がお手伝いを実施。

来期予算は大幅に削減。

②全員集合日の実施

月例全員集合日を実施した。本年度もコロナ禍により、活動に制限を余儀なくされたりしながら、清掃/艇整備/施設補修をおこなった。特にNZチームの五輪事前合宿に対しては多くの制約のある中、セタローならではの柔軟かつ迅速な対応で、ハード面の受け入れから運び出しまでを滞りなく遂行した。

③施設関連実施事項

日常のメンテナンスを実施した。各所不具合対応、備品の購入など

2021年度実施工事関係

- 1/15 ごみコンテナ設置による不要品整理
- 2/19 本棟2階デッキ修理
- 3/7 アネックス裏整備作業
- 2020年7月～3/28 アネックス裏整備工事完了
- 4/6 駐車場ロープ設置工事共用スリッパ更新 船台修理
- 4/25 駐車場出入口チェーン修理
- 4/18～5/4 クラブ外構芝生復活計画
- 8/21 NZ記念贈呈オール設置設置
- 12/26 11/28作業日水位低下に伴い水路作業実施
- ヌートリアは未捕獲 (撤去予定)
- 船台は随時補修

④大会への役員派遣

関西ボート連盟、滋賀県ボート協会、京都ボート協会、大阪ボート協会、大津市ボート協会等主催の大会にて、役員活動を行なった。

⑤メディア出演等

- 3月30日 毎日放送 よんちゃんTV ホストタウン/ボート ※NZ代表受け入れ準備について紹介
- 4月28日 朝日新聞夕刊 湖上の熱戦ネット中継も熱く 瀬田漕艇倶楽部はユーチューブで
※朝日レガッタのライブストリーミングについて紹介
- 9月5日 京都新聞21頁 スポーツ面 ボランティアレガシー
※東京オリパラボランティアを行う林生朗さんを紹介
- 9月21日 中日新聞 14頁
湖国から支えた人たち 琵琶湖で事前合宿をNZボート熱望 万全な準備へ官民奔走
※NZ受け入れについて 杉藤さん、田中さんが説明
- 9月27日 京都新聞 25頁 東京五輪の風 迷走の結末 ④レガシー 時代へ経験と理念どう継承
※NZ合宿受け入れについて 長瀬さん、中出さんが説明

2 収益事業活動

朝日レガッタでのライブストリーミングを受注しており、ミニFMからの移行を見込んでいたが、大会は中止となり、関連事業(Tシャツ販売、出店)もなかったため、利益は得られなかった。また、マシニング大会も開催されなかったため、払い下げエルゴの販売もなかった。Webサイトを昨今のEコマースに対応させることは費用もかかり現実的ではなく、そのため、その他の販売も低調だった。実質的に会員向けのクラブ製品の販売などにとどまった。

共通経費と管理費、法人税を差し引くと、収益事業は赤字であり、事業断念も視野に入ってきた。ただ、事業断念した場合は、NPO事業に分類しがたい事業をどのように扱っていくかが課題になるであろう。

2021年活動まとめ

実施時期	実施場所	事業名	倶楽部員 従事人数	受益対象者
1月中旬 (新型コロナで中止)	滋賀県立体育館	Japan Indoor Rowing		
2/28(日)	瀬田漕艇倶楽部	定期総会	出席29名 委任55名	正会員148名
4月下旬 (新型コロナで中止)	瀬田川	第35回セタシジミ祭 (ドラゴンボート体験)		
5/2(日) (新型コロナで中止)	瀬田漕艇倶楽部	コーチセミナー		
9/12(日) (新型コロナで中止)	琵琶湖漕艇場	第16回びわこ市民レガッタ		参加者41クルー (エントリー数)
11/13(土)-14(日)	瀬田川	第29回Head of The Seta	延べ98名	2日延参加者187クルー (424名)
5~11月 第2,4日曜日	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	初心者ボート体験教室		一般市民約30名

倶楽部会員数

	会員数 2020年12月31日	1年間の入会数	1年間の退会数	会員数 2021年12月31日
正会員(家族会員)	145 (24)	15 (2)	20 (4)	140(22)
賛助会員	69	4	3	70
合計	214 (24)	19 (2)	23 (4)	210 (22)

2021年度競技活動結果

☆全国高体連通信制20分エルゴ記録☆2月23日

高校男子 井上貴 4932m 776位※順位は全国順位

☆日本代表候補最終選考レース予選タイムトライアル☆3月13日

女子2- 西原(プリントパック) 2位 ※デンソーボート部中条彩香選手との混成
日本代表候補最終選考レースに進出

☆日本代表候補最終選考レース☆3月25日～26日

女子2- 西原(プリントパック) 優勝 ※デンソーボート部中条彩香選手との混成
2021年シニア代表候補選手に選出

☆西日本選手権☆4月24日

男子1× 山口将 3位

女子1× 西原(プリントパック) 優勝、嶋 4位、三島 7位、

男子4- 西原 椎名 山口将 優勝※三重選抜との混成

☆ねんりんピック☆5月29日

男子1× 京 1位、安達2位、青木 3位、尾崎準 4位

女子1× 長瀬 1位、中西 2位、八木 3位、

ナックルフォア 太田弘 尾崎幸 上坂 木村祐 小島 1位

☆滋賀県民体育大会☆6月19日

男子2× 山本恭、伊藤 4位

女子2× 嶋 三島 1位

マスターズ男子1×60歳未満 京 1位

マスターズ男子1×60歳以上 安達 1位、青木博 2位、鵜瀬 3位

マスターズ女子1×60歳未満 三登 1位

マスターズ女子1×60歳以上 長瀬 1位

マスターズ男子2×60歳以上 尾崎準 尾崎幸 1位、永田、深田 2位

マスターズ女子2×60歳未満 木村祐、東暢子 1位

マスターズ女子2×60歳以上 中西、太田弘 1位

☆京都ボート選手権☆6月20日

男子1× 山口将 4位、西原 B決勝 2位

女子1× 西原 1位、嶋 2位

☆全日本社会人選手権☆6月26日～27日

女子1× 西原 B決勝 1位(全体7位)

男子1×40歳以上 田中彰 3位

女子4× 西原※戸田中央総合病院と混成 4位

☆関西選手権☆7月3日～4日

男子1× 山口将 5位、椎名(横浜漕艇倶楽部埼玉) 準決勝1組3位、井原 準決勝3組4位

女子1× 西原(プリントパック) 優勝

男子2× 南條、吾郷 5位

女子2× 嶋 三島 準優勝、河村 岩留 敗者復活2組5位

男子4× 井上貴 山本恭 伊藤 木村 6位

☆国体近畿ブロック予選☆7月18日

女子1× 西原(京都選抜) 1位※本大会進出

女子4×+ 嶋(京都選抜) 2位※本大会進出

☆国体中国ブロック予選☆7月18日

女子2× 三島(島根選抜) 2位

男子4+ 吾郷(島根選抜) 3位

☆国体九州ブロック予選☆7月10日～11日

女子4×+ 岩留(鹿児島選抜) 2位※本大会進出

☆国体関東ブロック予選☆7月10日～11日

男子4+ 椎名(群馬選抜) 敗者復活2位

☆京都レガッタ☆10月10日

男子1× 鈴木順 5位、田中彰 予選1組4位

男子2- 倉本 南條 優勝

女子2× 三島 嶋 優勝

マスターズ男子1× 京 優勝、安達 2位、青木4位

マスターズ女子1× 武良美 優勝

混合2× 黒田 三登 2位、武良美 副島 3位、安達 長瀬 4位、尾崎準 尾崎幸 5位、
下村 安藤 6位、太田弘 中村眞 予選2組4位

マスターズ女子ナックル 太田弘 木下 上坂 小島 中出 2位

☆2021 World Rowing Coastal Championships☆9月30日～10月2日

CM1× 吾郷 37位(B決勝17位)

☆全日本選手権 兼 全日本大学選手権☆10月28日～31日

男子1× 山口将 予選A組6位

女子1× 西原(プリントパック) 優勝

女子2× 三島 嶋 敗者復活A組5位

☆Head of the Seta☆11月13日～14日

男子1× 岡田(三重選抜) 1位

女子1× 西原(プリントパック) 1位

男子1×60歳代 青木 3位

女子1×60歳代 長瀬 1位

男子1×70歳代 安達 1位

女子1×70歳代 太田弘 1位

男子2× 東虎太郎 武良大河 8位、渡辺 岩見 16位、深田、永田 18位

男子4× 三島 西原 田中夏 嶋 1位

[2] 2021年度会計報告

1.2021年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書 (単位: 円)

令和3年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書

(H23NPO会計基準で表示)

科 目	令和3年1月1日から令和3年12月31日まで				差異	
	予算額		決算額			
I 経常収入の部						
1 会費、入会金収入						
会費	4,900,000		4,722,500		177,500	
入会金	300,000	5,200,000	420,000	5,142,500	△ 120,000	57,500
2 受取寄付金						
賛助金(個人)	408,000		408,000		0	
賛助金(法人)	200,000		100,000		100,000	
一般寄付金(その他)	0	608,000	212,329	720,329	△ 212,329	△ 112,329
3 受取助成金						
受取助成金・補助金	0	0	700,000	700,000	△ 700,000	△ 700,000
4 事業収入						
1 マシンローイング近畿大会	0		0		0	
2 びわこ市民レガッタ	780,000		0		780,000	
3 Head Of The Seta	1,000,000		861,560		138,440	
4 市民教室(体験教室)	300,000		64,000		236,000	
5 朝日レガッタコーチセミナー	0		0		0	
6 レガッタ支援(全国市町村レガッタ)	0		0		0	
7 イベント支援(しじみ祭り)	0		0		0	
8 クラブコーチ事業	400,000		774,000		△ 374,000	
9 MRエアロビ教室	0		0		0	
10 他団体受入事業(合宿等)	0		0		0	
11 NZ合宿受入事業	0		2,002,970		△ 2,002,970	
12 しがスポーツ大使事業	0		100,000		△ 100,000	
13 スポーツ事業	0		0		0	
その他	0	2,480,000	0	3,802,530	0	△ 1,322,530
3 その他収益						
受取利息	0		390		△ 390	
雑収益	0	0	0	390	0	△ 390
経常収入合計		8,288,000		10,365,749		△ 2,077,749
II 経常支出の部						
1 事業費						
1 マシンローイング近畿大会	0		0		0	
2 びわこ市民レガッタ	690,000		23,783		666,217	
3 Head Of The Seta	600,000		304,482		295,518	
4 市民教室(体験教室)	0		4,040		△ 4,040	
5 朝日レガッタコーチセミナー	0		0		0	
6 レガッタ支援(全国市町村レガッタ)	0		0		0	
7 イベント支援(しじみ祭り)	0		0		0	
8 クラブコーチ事業	1,900,000		1,932,640		△ 32,640	
9 MRエアロビ教室	0		0		0	
10 他団体受入事業(合宿等)	0		0		0	
11 NZ合宿受入事業	0		1,053,002		△ 1,053,002	
12 しがスポーツ大使事業	0		0		0	
13 スポーツ事業	0		0		0	
その他	50,000	3,240,000	0	3,317,947	50,000	△ 77,947
2 管理費(倶楽部運営、管理諸費用)						
給料手当	700,000		675,600		24,400	
レクレーション費	50,000		0		50,000	
会誌発行費	250,000		198,047		51,953	
会議費	15,000		0		15,000	
交際費	5,000		5,000		0	
通信運搬費	20,000		17,232		2,768	
消耗品費	400,000		609,969		△ 209,969	
保全費	500,000		145,860		354,140	
施設費	800,000		418,220		381,780	
水道光熱費	600,000		540,723		59,277	
減価償却費	3,200,000		3,660,144		△ 460,144	
保険料	200,000		155,572		44,428	
諸会費	0		9,200		△ 9,200	
租税公課	660,000		708,300		△ 48,300	
支払手数料	10,000		7,847		2,153	
広告費	20,000		20,000		0	
強化費	400,000		225,723		174,277	
選手登録費	50,000		65,000		△ 15,000	
雑費	270,000		0		270,000	
予備費	0	8,150,000	0	7,462,437	0	687,563
経常支出合計		11,390,000		10,780,384		609,616
III 経常外収益の部		0	0	0		0
IV 経常外費用の部						
経常外増減額		0		0		0
経理区分振替額						
収益会計より繰入	0	0	0	0	0	0
税引前当期正味財産増減額		△ 3,102,000		△ 414,635		△ 2,687,365
前期繰越正味財産		94,751,399		94,751,399		
当期正味財産合計		91,649,399		94,336,764		

※別紙参照

令和3年度「特定非営利活動に係わる事業会計」貸借対照表

令和3年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	293,492	
普通預金	22,157,652	
未収入金	32,070	
流動資産 合計		22,483,214
2 固定資産		
建物	29,173,139	
構築物	2,643,315	
艇	257,205	
備品	491,622	
土地	24,000,000	
固定資産 合計		56,565,281
3 投資その他の資産		
艇庫積立金	15,033,140	
長期前払費用	511,984	
投資その他の資産 合計		15,545,124
資産合計		94,593,619
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	158,333	
預り金	98,522	
流動負債 合計		256,855
2 固定負債	0	
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		94,751,399
当期正味財産増加額		△ 414,635
正味財産 合計		94,336,764
負債及び正味財産 合計		94,593,619

令和3年度「収益事業会計」活動計算書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益の部		
1 事業収益		
販売、サービス事業収入	239,719	239,719
2 その他の収益		
預金利息 他	275	275
経常収益 計		239,994
II 経常費用の部		
1 事業費		
事業収益原価	194,995	194,995
2 管理費		
事務通信費	92,257	
その他の経費	1,210	93,467
経常費用 計		288,462
当期経常増減額		△ 48,468
経理区分振替額		
収益事業会計振替額		0
税引前当期正味財産増減額		△ 48,468
法人税、住民税及び事業税		72,200
当期正味財産増加額		△ 120,668
前期繰越正味財産額		5,293,962
次期繰越正味財産額		5,173,294

※5.収益事業会計報告 参照

令和3年度「収益事業会計」貸借対照表

令和3年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部
(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	110,487	
普通預金	5,039,017	
在庫商品	95,990	
売掛金	0	
流動資産 合計		5,245,494
資産 合計		5,245,494
II 負債の部		
1 流動負債		
未払法人税等	72,200	
流動負債 合計		72,200
負債 合計		72,200
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		5,293,962
当期正味財産増加額		△ 120,668
正味財産 合計		5,173,294
負債及び正味財産 合計		5,245,494

収益事業会計報告

(2021年1月1日～2021年12月31日)

総括

前年度繰越

今年度決算

(円)			(円)		
現預金	5,305,792	今年度	現預金	5,149,504	次年度
売掛金・立替金	0	収益活動	売掛金・立替金	0	収益活動
在庫	60,370	→	在庫	95,990	→
固定資産	0		固定資産	0	
NPO事業勘定	0		NPO事業勘定	0	
前受金	0		前受金	0	
未払法人税等	△ 72,200		未払法人税等	△ 72,200	
純資産	5,293,962		純資産	5,173,294	

明細

品名	原価	売上金	粗利益		
			予算	実績	差額
ニールセンケラーマン社製品	41,140	47,900	0	6,760	△ 6,760
冊子	1,430	3,850	0	2,420	△ 2,420
アパレル	20,700	25,200	0	4,500	△ 4,500
レンタル事業	0	0	0	0	0
エルゴ	131,725	146,000	0	14,275	△ 14,275
その他(※)	0	17,044	0	17,044	△ 17,044
合計	194,995	239,994	0	44,999	△ 44,999

雑収入(自販機)	0	8,632	0	8,632	△ 8,632
預金利息	0	16	0	16	△ 16
テント場所受取手数料	0	0	0	0	0
送料差額収入	0	120	0	120	△ 30,940
施設利用料	0	0	0	0	△ 30,940
Google広告収入	0	8,017	0	8,017	△ 8,017
その他雑収入	0	259	0	259	△ 259
合計	0	17,044	0	17,044	△ 17,044

その他雑収入・・・前年度預金利息の源泉等還付等

共通経費	予算	実績
事務通信費		92,257
その他の経費		1,210
棚卸廃棄損	0	0
合計	0	93,467

特定非営利活動事業会計繰入金		0
未払法人税等(当期分)	72,200	72,200

当期収入額	239,994	
売上原価	194,995	
	44,999	粗利益
共通経費	93,467	
	△ 48,468	税引前利益
法人税額	72,200	
	△ 120,668	当期利益
特定非営利活動事業会計繰入金	0	
	△ 120,668	収支差額

6. 2021年度 財産目録 令和元年12月31日現在 (単位：円)

令和3年度 財産目録

令和3年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部
(単位：円)

科 目 ・ 摘 要				金 額	
I 資産の部					
1 流動資産					
現金・預金					
現金		(一般)	293,492		
現金		(収益)	110,487		
普通預金	滋賀銀行 石山支店	No.198794	(一般)	3,872,054	
普通預金	滋賀銀行 瀬田支店	No.522662	(特別)	2,996,108	
普通預金	滋賀銀行 瀬田支店	No.521114	(一般)	91,709	
普通預金	滋賀銀行 石山支店	No.198783	(収益)	1,761,518	
郵便貯金		普通通帳	(一般)	4,553,690	
郵便貯金		大会受付	(一般)	4,264,673	
郵便貯金		会費	(一般)	5,599,418	
郵便貯金		事業別会計	(一般)	780,000	
郵便貯金			(収益)	3,277,499	
未収金(R3年入金 R2年分会費等)					32,070
在庫商品(販売商品在庫高)					95,990
流動資産 合計					27,728,708
2 固定資産					
固定資産					
艇庫積立金				15,033,140	
建物				29,173,139	
構築物				2,643,315	
艇				257,205	
備品				491,622	
土地				24,000,000	
長期前払費用(火災保険料他)				511,984	
固定資産 合計					72,110,405
資産合計					99,839,113
II 負債の部					
未払金(R2年請求経費分)				158,333	
未払法人税等				72,200	
預り金(源泉所得税)				98,522	
流動負債 合計					329,055
負債合計					329,055
正味財産					99,510,058

[3] 2021年度監査報告

監事 竹内英子

二年前に全世界に波及したパンデミック、コロナ禍の影響はスポーツ界に、我が倶楽部にも大きく影響した。

その中で夏のオリンピック事前合宿でニュージーランドオリンピック代表クルーが倶楽部を利用して、東京オリンピックで活躍したことは我々にとって嬉しい出来事でした。

そして、多くの会員が支援できたことは、コロナ禍で直接触れ合う交流は出来なかったけれど、倶楽部にとって一人ひとりの心に残る財産として記憶に残るものだった。

また、二年ぶりにHead of the Setaを開催できたことはスタッフとして集まった会員との出会いがあり、あらためてイベントを開催することの重要性を感じた。

◎安全対策

シーズン始めには、会員に安全講習会への受講を義務化しました。また日々の水域での情報を安全担当理事が会員に連絡するようになり、安全についての意識高揚に努めました。しかしながら課題としては、水上練習に関し夏季の全開放流時、琵琶湖の濁水時、冬季の低気温時に自分の潜力を過信する会員が見られる。世代層や潜力が違う会員がいるので自己責任であるが水上練習に不適な状況時では違うスポーツや運動を取り入れる柔軟な考えを持って楽しんでいただきたい。

◎生涯スポーツ

レースに向けてクルーを作り、目標を持って日々の練習を取り組むことは倶楽部活動の大きな柱であるが、ボート運動は心身の健康維持増進にとっても良い運動であると思うので、レース主眼でない仲間との交流を助長する取り組みがあれば長く会員であり続ける事ができ、会員数の増大にもつながるのではないかと。

◎アスリートの育成

最近選手志向で入会する若い会員は減少しているが、将来の瀬田漕艇倶楽部を担ってくれる会員を育成するつもりで全会員のサポートをお願いしたい。

今年度は全日本女子シングルスカルで優勝する選手を輩出したが、全日本レベルで上位に食い込む選手層を厚くし、クラブチームでも日本を代表することが可能であることを示して欲しい。

◎収入確保

コロナ禍でイベントが減少し、三大事業を中心に収入を確保していたものが減少したことが大きく影響しているが、今後の施設維持・用具購入等の為に知恵を出しあって模索してほしい。

一方、会費収入も大きな財源であり、いつまでも会員でいたいという気持ちを持てる魅力ある倶楽部であって欲しい。

監事(会計) 太田俊二

- 2021年度も新型コロナウイルスの感染拡大により平常に戻ることなく、多くの活動が制限される中で倶楽部運営となった。三大事業のうち、Head of The Setaは開催できたが、びわこ市民レガッタとMR大会は中止となった。東京オリンピックでのNZ代表合宿の受け入れは、多くの倶楽部員の協力もあり、無事任務を終えるとともに、NZ代表大活躍に貢献できたことは、大変喜ばしいことである。
一方、活動の制限・縮小による発生経費の抑制効果もあり、会計収支としては若干の赤字決算となったものの、キャッシュフローでは約2.7百万円の現金を残すことができた。コロナは未だ先が見えない状況ではあるが、倶楽部の将来にとって必要な投資は惜しまず、withコロナ、afterコロナの新たな生活様式の中で、これまで以上に活気あふれる活動や事業を行っていけるよう基盤の整備をお願いしたい。
- 計算書類の記載について。倶楽部で従来から作成していた方式が踏襲されており、内閣府発行の手引書等にて公開されている様式例や作成例と乖離がある。また、活動計算書の事業費と管理費は、本来とは違った区分がされている。2022年度決算においては、手引書等で提示されている様式や基準に沿った計算書類への切り替えをお願いしたい。

[4] 2022年度役員（2022年改選、任期2年）

NPO法人瀬田漕艇倶楽部 理事および監事

理事（代表）	田中 彰
理事（専務）	狩谷 悟史
理事（専務・50周年準備）	坂本 春奈
理事（保全）	中村 眞
理事（強化）	山口 将平
理事（広報）	木村 俊紀
理事（施設）	中 俊久
理事（収益）	黒田 士朗
理事（普及育成・安全）	武良 美恵
理事（会計・財務）	今城 律雄
監事(事業)	竹内 英子
監事(会計)	今村 拓也

実行委員長及び審判長

びわこ市民レガッタ	中村 眞
Head Of The Seta	山本恭平
マシンローイング大会	猪飼 更紗
コーチセミナー	坂本 春奈
審判長	山崎 有紀

事務局

事務局長	調整中
倶楽部事務担当	東 暢子・安藤 真由美
クラブ事業担当	鷹野 大郎
社会貢献事業担当	鵜瀬 正樹
会計・財務担当	佐々木 真樹

1977年に創設された瀬田漕艇倶楽部はまもなく半世紀を迎えようとしています。これからの時代にも私たちが倶楽部チームのフロンティアであり続けるために、また次世代に自信をもって倶楽部を残すために、本年度より具体的な50周年記念事業の準備に取り掛かりたいと思います。また倶楽部の先人が構築してきたノウハウを適切に共有するために今回から新たに「保全」および「施設」のチーム化を提案します。新しい時代に即して老若男女が倶楽部の運営にかかわる仕組み作り（会員全体で環境を整え、会員全員が環境を活用できる）に挑戦します。ご理解・ご協力の程お願いいたします。

[5]活動計画（案）

将来のあるべき姿

1. 全体 「チャンピオンクルーから日曜スカラーまで」倶楽部設立の理念に基づき、各会員が世代を超えて充実した倶楽部ライフを満喫する体制を保持し、日本中の総合型地域スポーツクラブの範となる。そのためには会員全員が共有するスポーツマン（ウーマン）シップのもと、地域に根差した倶楽部となることを常に意識して、会員や家族のみならず地域市民や国内外クラブとの交流の場としての役割を果たす。
2. 安全 受傷事故絶対ゼロ。
3. 保全 会員全体がクラブ設備・備品に対して共有物である事をしっかりと認識し、それらを保全することは倶楽部員共通の義務・責務であることについて高い意識を持つ。故障・不具合が出てからの事後対応ではなく、あるべき姿を前もって手入れする事によって維持する本来の意味として保全が出来る心構え、物の扱いを倶楽部員各自が持つ事を旨とする。
4. 施設 会員が自然と交流できる空間作り、近隣からも愛される環境整備、国内外に評価される施設作り。
5. 事務 効率的な事務業務。組織として運営できる体制にする。
6. 特別 びわこ市民レガッタ、Head of the Seta、マシンローイング大会を運営し、150万円の利益を得る。また、行政や地域諸団体とも連携し、大津・瀬田川の風物詩となるイベントに発展させる。
7. 普及 季節毎に水上スポーツの普及イベントを開催する。
8. 収益 年間100万円の利益を得る。
9. 財務 艇購入・艇庫改修のための積立を毎年確保する。
10. 広報 月一回の会報発行を継続。わかりやすいシンプルなホームページを提供。
11. 活動 (1) 60人以上のアクティブメンバー(月に4回以上倶楽部に来る)が活動している。
(2) ボート常任コーチの設置とともに、ボート全日本選手権最終日に残る。
(3) 一般市民が水上スポーツに触れ合う機会を提供する。

2022年度の具体的な活動計画

1. 全体 50周年記念事業の準備に具体的にとりかかる。また倶楽部理念や建設の趣旨に沿ってFurukawa Houseを始めとした倶楽部施設の活用を再検討・実践し、世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を活発化する。そのためにはコロナ禍での新たな事業計画・倶楽部運営体制を整え、特に若い世代の新規入会を促進する。また認定NPO法人への再認可へ尽力し、賛助会員の拡大策の検討を軸に財務状況の健全化を目指す。
2. 安全 (1) 安全規則の随時見直し（初版2005年）。
(2) 安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3) インシデント・アクシデントレポート作成の推進。
3. 保全 整理整頓という基本的な事を皆で行える様、まずはあるべき姿を管理、そしてそれを維持する所から取り掛かる。またクラブの設備・備品で経年劣化して来ているものについて、皆でそれらに対する情報や意識を共有できる様になる。
4. 施設 老朽化した所の対応、使い勝手を見直した修繕計画と備品購入計画。
5. 事務 各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策
6. 特別 びわこ市民レガッタの参加者100クルー(500人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。Head of the SETAの参加者800人以上。各ボート団体への個別交渉。
7. 普及 ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年250人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく。
8. 収益 ウェブを活用して、年間50万の収益確保に取り組む。
新たな収益財源確保に向けて具体案を検討する
9. 財務 会計フローの整理・定着化。各理事との連携を強化する。
10. 広報 月一回の確実な会報発行。
11. 活動 倶楽部運営収支100万円、NPO事業収支200万円、収益事業収支50万円の計350万円の現金収支を確保するため、各方面での工夫だけでなく新たな施策を計画・実行する。
選手チームは全日本選手権でのメダル獲得を目標としながらも、次世代を担う選手層のメンバー獲得にも取り組む。杉藤コーチの指導のもと、競技力強化、魅力ある選手チーム作りを一層推進する。また各種コーチセミナーや、地域および他団体との交流の機会を積極的に展開する。

[6] 2022年度NPO法人瀬田漕艇倶楽部 年間事業計画（案）

月	日	事業名	大会日程
1	30（日）	全員集合日	初漕会(1/2) 2022 Asian Rowing Virtual Indoor Championships(1/15)
2	27（日） 27（日）	定期総会 全員集合日	大津市民駅伝（中止）
3	27（日）	全員集合日	全国高等学校選抜大会（3/19-21） 中川運河ロングレース(3/27)
4	24（日）	ドラゴンボート体験（セタシジミ祭） 全員集合日	中日本レガッタ(4/15-17) 西日本選手権(4/23-24)
5	2（月） 29（日）	朝日レガッタコーチセミナー 全員集合日	朝日レガッタ（5/1-4） 京都府高校総体(5/14) 全日本選手権(5/12-15) 滋賀県中学校春季総体（5/19） 大津市民レガッタ(5/22) 全日本マスターズレガッタ特別大会(5/28-29) 滋賀県高校春季総体（5/28-29） 大阪シティーレガッタ（未定）
6	26（日）	全員集合日	近畿高校ボート選手権(6/4-5) 滋賀県体兼国体予選・県民体育大会（6/18） 関西選手権競漕大会中学の部(6/18) 京都ボート選手権兼国体予選（6/19） 大阪府国体予選
7	24（日）	琵琶湖一斉清掃 びわこ市民レガッタ2021 事前練習会 全員集合日	全日本社会人選手権(7/2-3) 関西選手権競漕大会（7/2-3） 滋賀県中学夏季総体（7/2） 関西学生新人レガッタ(7/9-10) 全日本中学選手権(7/23-24) 国体近畿ブロック ボート競技
8	28（日）	滋賀銀行内レガッタ支援 びわこ市民レガッタ2021 事前練習会 全員集合日	全日本高等学校選手権競漕大会(8/11-14) びわこペーロン大会 滋賀県ジュニア選手権（8/27-28）
9	19(月・祝) 25（日）	びわこ市民レガッタ2022 全員集合日	全日本大学選手権大会(9/8-11) オックスフォード盾レガッタ(9/10-11) びわ湖レガッタ(9/17-18) びわこ市民レガッタ(9/19) 京都府高校ボート選手権(9/24) 京都レガッタ(9/25) 全国市町村交流レガッタ（未定）
10	23（日）	全員集合日	国体ボート競技会(10/1-4) かいつぶりレガッタ(10/8) TOKYO2020開催記念レガッタ(10/15-16) 中学秋季総体(10/14) 関西カヌースプリント選手権(10/15-16) 滋賀県高体連秋季大会（10/22） 全日本新人選手権(10/21-23)
11	12(土)-13(日) 27（日）	Head of The Seta 2022 全員集合日	関西学生秋季選手権(11/初旬) Head of The Seta (11/12-13) Head of The Tsubata/ Jinzu Head of The ARA ジャパンレディースレガッタ
12	25（日）	クリスマスパーティー 全員集合日	滋賀・京都ボート協会安全講習会

初心者ボート体験教室：5～11月第2,4日曜日10:00～ アダルトチーム練習会：毎週土日 07:45～
上記日程は変更する場合があります。変更の場合は会報およびメーリングリストにて連絡します。

[7] 2022年度予算（案）

2022年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動予算（案）

会費および寄付金等収入630万円、事業収入125万円、管理費895万円、NPO事業経常収益は▲140万円、減価償却340万円、CFベースでは+200万円。

Anex外壁塗装又は船台修理をCFベース内で行いたい。

本予算案は

- ① 市民レガッタ、Headを開催する予定での予算であり、コロナの影響で開催が出来ない時は赤字要因となる。
- ② 個人艇を倶楽艇庫に置かれている方より、アーム代金（仮称）を頂く予定。
 - ・個人艇が増えてきており管理が煩雑になってきている事。
 - ・事前調査においても多くの方が賛成していただいている事。
 - ・他施設に比べて割安である事・
 - ・屋内2万円、屋外1万円/年、1艇毎、損傷等の責任は負はない。
 - ・最終確認は行う。
- ③ コーチ代金も大きく減額。

収入先が決まっている当倶楽部では事業が開催されないと非常に厳しい決算となる。今より一層の節約による支出の減少を図ると共に、収入増のアイデア、知恵を出して欲しい。

茲許、艇庫積立金を増加しておらず、目標に向けての資金確保を図っていきたい。

2022年度「特定非営利活動に係わる事業会計」収支予算（案）

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

2022 予算	
収入の部	
年会費	4,600,000
入会金	300,000
賛助会費	400,000
補助金、助成金	200,000
寄付金	
仮)アーム代金	800,000
マシンローイング近畿大会	0
びわこ市民レガッタ	200,000
Head Of The Seta	500,000
市民教室(体験教室)	150,000
朝日レガッタ コーチセミナー	0
クラブコーチ事業(Jrボート)	400,000
その他 スポット事業	
事業収益・費用差額 合計	7,550,000

支出の部	給与手当	700,000
	会議経費	15,000
	レクレーション費	50,000
	保険料	200,000
	強化普及費	400,000
	施設費	800,000
	消耗品費	600,000
	保全費	450,000
	消耗品費+保全費	1,050,000
	減価償却費	3,425,000
	租税公課	720,000
	交際費	5,000
	光熱費	550,000
	通信運搬費	70,000
	選手登録費	70,000
	会誌発行費	250,000
	広告費	20,000
	支払手数料	10,000
	諸会費	10,000
	雑費	100,000
	クラブコーチ事業	500,000
	支出合計	8,945,000

Anex外壁塗装
船台修理

クラブコーチング目標と収支予算（案）

クラブコーチ事業として支出（コーチ報酬）50万円を計画。（大会での遠征帯同費等は、従来通り強化費として支出）

2022年度 収益事業計画（案）

1) ストロークコーチ類	6万円
2) アパレル関係	2万円
3) アサヒレガッタ	10万円
4) その他	2万円
	計20万円

地域スポーツ文化の創造にチャレンジしています！

出会いを大切に、スポーツライフの充実に取り組み、自らの価値を高めます！